

政策名	4環境にやさしい港		責任者	港営部 港営課長	連携担当課
基本施策名	06秩序ある港湾環境づくり				
個別施策名	20放置艇対策を推進する				
事務事業名	02プレジャーボート係留保管の適正化		連絡先	052-654-7871	

1 PLAN(目的・概要)

目的	プレジャーボートを適正に係留保管できるようにします。	事業期間	平成13～25年度※ ※「その他特記事項」参照
概要	放置等の状態にあるプレジャーボートについて、係留保管の適正化を図るため、地域の実情を踏まえた規制内容の条例を制定します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・他港調査結果を整理し、条例化に向けて関係機関との調整等を行い、条例の原案の作成作業を進めています。 ・23年度も、22年度と同様な作業を進めていきます。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	最終目標	25	備考(指標の算定方法など)
関係機関や利用者等と合意形成に向けた調査・調整回数	単位	目標	-	-	-	-	-	-	合意形成への調査・調整回数を判断の指数とします。
	回	実績	2	2	2	1			
事業費	単位	目標							
		実績							
人員	正規職員	単位	千円	171	71	23	5	156	
			人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
人員	嘱託職員	単位	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費・人件費の合計	単位	千円	3,474	3,508	3,433	3,392	3,507		
		千円	3,645	3,579	3,456	3,397	3,663		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	最終目標	25	備考(指標の算定方法など)
条例制定への進捗率	単位	目標	10.0	15.0	20.0	25.0	5.0	(累計)100	条例制定への進捗率を判断の指数とします。
	%	実績	5.0	10.0	15.0	20.0			
	達成率(%)		50.0	66.7	75.0	80.0			
観点	単位	目標							
		実績							
必要性	組合関与の必要性	有・無	現状の「見える化」						その他特記事項
	目的・水準の妥当性	有・無	・他港調査を参考にし、名古屋港の実情に合った条例の原案を作成するため、今以上の関係機関等との調整をする必要があります。						
有効性	成果の達成度	有・無	・概ね成果の目標を達成しています。						※新舞子ボートパークⅡ期工事の整備が、24年度から25年度に変更されたため。
	内容の妥当性	有・無							
効率性	実施主体の妥当性	有・無							
	受益者負担の適正性	有・無	・概ね目標を達成しています。						
	経済性	有・無							

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	ボートパークⅡ期の供用にあわせ、放置艇対策を強化するために必要であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
ボートパークⅡ期の供用に合わせ、係留保管の適正化を図るため、関係機関等と具体的な内容の検討を進めます。			